

2024年度 法科大学院

第4期入学試験問題

2時限

民法

(論文式)

試験時間 50分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[民法]

Xは、Aにだまされ、自己(=X)所有の甲絵画(時価200万円)を、Aに160万円で売却し引渡しをすませた。Aは、先の事情について何も知らないYと、甲絵画をYが開催する展覧会の終了まで80万円で賃貸する旨の契約を締結し、甲絵画をYに引き渡した。賃料は、展覧会の終了後に支払う旨が合意されている。その後、Xは、Aの詐欺を理由にXA間の甲絵画の売買契約を取り消した。この場合に、XY間の法律関係について検討しなさい。なお、問題の検討にあたって、場合分けが必要な場合には、場合分けをして答えなさい。